

伊豆市資料館 企画展

資料館で

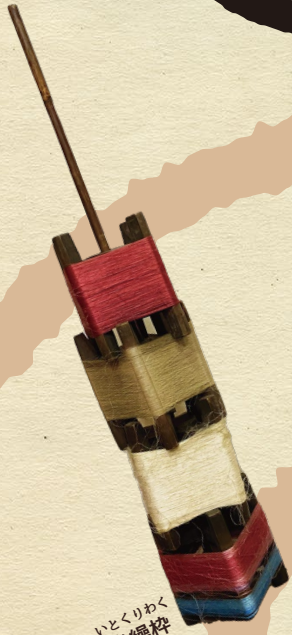


ざぐり
座繰り



やげん
業研

くまろ!



いとくりわく
糸繰棒



せんぶうき
扇風機



とうみ
唐箕

2022

3/18(金)

~7/13(水)

伊豆市資料館 特別展示室

休館日：木曜日

開館時間：9：00～16：00（最終入館 15：45）

入館料：大人 210 円 小中学生 100 円

 伊豆市資料館
IZU LOCAL HISTORY MUSEUM

〒410-2502 静岡県伊豆市上白岩 425-1 TEL/FAX：0558-83-1859

【アクセス】車：国道 135 号修善寺横瀬交差点より伊東方面へ約 10 分。

電車・バス：伊豆箱根鉄道「修善寺」駅よりバス約 10 分（伊東方面「上白岩」バス停下車）。



ぐるぐるどろどろ!

私たちの身のまわりには、回ることによって力を発揮する道具がたくさんあります。また、「ぐるぐる」の形は、水、草、雷、炎など、さまざまなものを表し、「文様」として私たちの生活に寄り添ってきました。

本展では、市内で出土した土器から、電話などの身近な生活道具、昔の米作りに使われた農具まで幅広く収蔵品を紹介します。「ぐるぐる」をキーワードに、昔から今につながる暮らしを紐解いてみましょう。

ぐるぐるの カタチは何を表す？

「ぐるぐる」の形には、どんな意味があるのでしょうか？
縄文土器や瓦など、昔から現代までの「ぐるぐる」な模様を紹介します。



土器片

かわら瓦



糸車

黒電話

ぐるぐるの チカラは生活を助く

私たちの生活は、回ることによって力を発揮する道具に支えられています。
糸紡ぎの道具や、扇風機、電話など、身近な道具を紹介します。

ぐるぐると 米作り

機械が普及していなかった時代、米作りは大変な重労働でした。
作業を効率化するため、農具には回る力がたくさん使われています。
米作りの1年を追いながら、回る力を使った農具を紹介します。



のうぎようようせんふうき
農業用扇風機

あしぶみだっこき
足踏脱穀機

関連イベント EVENTS

ぐるぐるな伝統文様を型染めしよう！
「型染め」という方法でハンカチやTシャツなどにぐるぐるな伝統文様を染めます。

手作り岩絵の具で絵を描こう！

市内の石を使った手作りの岩絵の具で絵を描きます。
協力：伊豆半島ジオパーク推進協議会（新年度より名称変更予定）

※イベント詳細は後日チラシなどでお知らせします
※予定は変更になる可能性があります



伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

常設展 PERMANENT EXHIBITION



常設展では「自然」「遺跡」「芸術」「産業」のテーマに沿って、伊豆市の郷土に関する資料を展示しています。